

# 当院において乳房温存手術を受けられた方へ

## 超音波による乳管内癌進展診断の精度に関する研究へ協力をお願い

### <研究の概要>

確実な乳癌切除には、できるだけ大きく切除することがベストとなりますが、逆に、大きく切除すればするほど術後の乳房整容性（見た目の美しさ）が悪化します。この観点からは、できるだけ最少限の切除が必要です。そこで、できるだけ正確に腫瘍の位置、広がり術前に把握し、必要十分な切除をすることこそが現在乳癌温存手術の重要ポイントとなっています。現在は、術前超音波検査により、MRI、CT情報の併用して、術前に切除範囲を決定しておりますが、その精度は十分に検討されているとは言えません。そこで、今回、温存手術における最終的な温存成功の有無と、術前超音波検査の結果を検討することにより、術前超音波検査の精度を評価したいと考えております。

### <研究の対象と内容>

2010年4月1日～2011年3月31日、当院にて乳房温存手術を予定され、術前に超音波診断をうけた患者さんを対象とします。

### <個人情報の取り扱い>

個人情報は研究者の比較検討においてのみ共有され厳重に管理されます。研究目的が診断精度であることから、個人情報が公開されることはありません。

### <研究協力への同意>

今回の研究では、皆様からとくに連絡がない場合には、検査結果を研究のために利用させて頂きたいと考えています。もし検査結果を提供したくない方がいらっしゃいましたら、どうぞ遠慮なく担当医師にご連絡ください。

なお、今回の研究に協力しないことによって、当院での診断・治療において不利益を被ることは一切ありません。

研究責任者 中島 一毅 (川崎医科大学 乳腺甲状腺外科)

平成23年 7月 19日

—より詳しい情報が必要な方へ—

●本研究について詳しい情報が必要な方は、下記へご連絡ください。

中島 一毅 (乳腺甲状腺外科) [Tel:086-462-1111](tel:086-462-1111)、E-mail: [urbandoc@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:urbandoc@med.kawasaki-m.ac.jp)